

第3章 ヒックリ返して、ピョンと疑問詞

問題7 次のコトバを話相手から聞き出したいとき、どんなコトバを使いますか。

- (1) きのう (2) えんぴつを (3) 私の(犬) (4) バスで
(5) 6時に (6) 7(日) (7) 日高さん (8) 東京で
(9) 英語を勉強するために (10) 2週間 (11) 15歳

問題7の答えはP. 110

英語では、次のようになります。

聞き出したいコトバ	聞き出したいときに使うコトバ
(1) yesterday	→ when
(2) a pencil	→ what
(3) my (dog)	→ whose (dog)
(4) by bus	→ how
(5) at six	→ what time
(6) seven (days)	→ how many (days)
(7) Mr. Hidaka	→ who
(8) in Tokyo	→ where
(9) to study English	→ why
(10) for two weeks	→ how long
(11) fifteen (years old)	→ how old

ふつうの参考書では(1)～(11)のようなコトバを聞き出したいときに使う ^{(フ)ウエン} when
(フ)ウエア フー フーム フーズ (フ)ワット (フ)ウィッチ (フ)ワイ ハウ
・ where ・ who ・ whom ・ whose ・ what ・ which ・ why ・ how の
9つの単語を疑問詞と呼びますが、日高式英語では、これらの単語だけでなく、**Yes (はい)**
やNo (いいえ)以外のコトバを聞き出したいときに使うコトバのカタマリ(ほとんどは
1～3単語)すべてを疑問詞と呼んでいます。つまり、whose dogs ・ what time
・ how many days ・ how long ・ how oldなども疑問詞と呼ぶわけです。

(例)
ふつうの参考書 日高式
What time ～? What time ～?
疑問詞 名詞 ←→ 疑問詞

疑問詞を使った疑問文の作り方

疑問詞を使った疑問文は

「下線部が答えの中心になる文を作りなさい」や「下線部を問う文を作りなさい」

のように出題されることが多いのですが、いずれにしても **下線部を疑問詞にかえた疑問文を作りなさい**という意味を表しています。

- ① 与えられた文の主語と疑問文を作る単語をヒックリ返して疑問文を作る
※疑問文を作る単語には×をつけておく
- ② 下線部を適当な疑問詞にかえる
- ③ 疑問詞を1番前(で作った疑問文の前)にピョンと飛び出させる

例題 下線部が答えの中心になる文を作りなさい。

I saw her in the park yesterday . ← 与えられた文

You

~~I~~ saw her in the park yesterday .

You (do) saw her in the park yesterday .

①

You	did
-----	-----

 see her in the park yesterday .
↑ ↓
↓ ↑

Did	you
-----	-----

 see her in the park yesterday ?

② Did you see her in the park when ?

③

When

 did you see her in the park

--

 ?
↑ ↓
↓ ↑

when

与えられた文は、これから作る疑問文の答えの文になるので、まず、IをYouにかえておかなければなりません。「あなたは～？」と聞くからこそ「私は～」と答えてくれるのです。同様に、与えられた文の中にweやmy[our]やme[us]があるときにも、それぞれyou、your、youと先に書きかえておきましょう。

疑問詞を使った疑問文を作るとき、与えられた文の中(下線部は除く)に

I	^{マイ} <u>W</u> e	^{アウア} my <u>o</u> ur	^{ミー} <u>m</u> e	^{アス} <u>u</u> s	があるときは
↓		↓	↓		
You		^{ユア} your	you		にかえておく

① 与えられた文の中に疑問文を作る単語がないので、「こまったなあ、ドーしよう？」の『ドスケベdo』がsawの前に隠れていると考えます。sawはseeという動詞の過去形ですから、『ドスケベdo』がdidとなって疑問文を作ります。

saw → did see

主語のYouとdidをヒックリ返します。

② 下線部を疑問詞に置きかえます。yesterday(きのう)というコトバを聞き出すためには『いつ』という疑問詞whenを使います。

③ whenを疑問文の1番前にピヨーンと飛び出させて完成です。日高式英語では、疑問詞が文の1番前にピヨーンと飛び出す性格を忘れないようにするために、目立ちたがり屋と呼んでいます。

疑問詞は目立ちたがり屋、文の1番前にピヨーンと飛び出す

第5章 ^{ひかく}比較されたらイヤザンす！

人やものどうして、何かを比べるときの言い方(比較と呼ぶ)について勉強しましょう。

中学では、2人の人や2つのもの間で何かを比べて、差がつく場合と差がつかない場合や3人以上の人や3つ以上のもの間で何かを比べて、「1番～だ」などという言い方を学びます。

2人の人(2つのもの)の何かを比べる場合

リエちゃんとカナコちゃんの「背の高さ」を比べてみることにしましょう。いったいどんな場合が考えられるでしょうか？

- ① リエちゃんの方が背が高い。
- ② カナコちゃんの方が背が高い。
- ③ ほとんど同じ。

比べたことに差がつく場合

①と②の文が表している内容は、ともに比べたことがら(ここでは背の高さ)に差がつく場合です。日本語では、

- ① は「リエちゃんはカナコちゃんより背が高い。」
- ② は「カナコちゃんはリエちゃんより背が高い。」

などと言いますね。

ところで、もしあなたがだれかと何かを比べられるとしたら、どんな気持ちがしますか？自分によっぽど自信がある人は別として、ほとんどの人は何かを比べられると聞くと、

比べられる→自分が負けていることが頭に浮かぶ→「イヤだなあ」

などと思うのではないのでしょうか。思ったでしょ？エッ、思わない!? 思うの!!

実は、英米人も比べたことに差がつくと、**イヤ**みたいです。もっとも私たちと違って、比べたことに勝った人がイヤになるみたいですよ。

次の2つの文を見てください。

- ① Rie is taller **er** than Kanako.
- ② Kanako is taller **er** than Rie.

①の文も②の文も **t a l l e r** (背が高い) という単語に “**e r** (イヤ)” というアルファベットがくっついていることに気づきますね。この **t a l l e r** の語尾(単語の終り部分)にくっついた “**e r**” が相手に勝っていることを表す印です。また、“**e r**” のくっついた単語を **比較級** と呼ぶことも覚えておいてください。

そうすると、

- ① Rie is taller →リエちゃんは背が高いということに勝ってるゾ
- ② Kanako is taller →カナコちゃんは背が高いということに勝ってるゾ

となりますから、①の文ではリエちゃんの方が、②の文ではカナコちゃんの方が背が高いということがわかります。

1の文の作り方

元になる文

Rie is tall. Kanako is tall.
リエは背が高い カナコは背が高い

- ① Rie is tall **than** Kanako is tall.
- ② Rie is taller**er** than Kanako is tall.
- ③ Rie is taller than Kanako (is tall).

① Rie is tall. と Kanako is tall. の2つの文を1つにすることから始めます。
2つの文を合体する場合には、文と文の間に接続詞を書かなければなりませんでしたね。

比べたことに差がつく場合には **t h a n**^{ザン} という接続詞を使います。

② 次に、1の文では、リエちゃんの方が背の高さに勝っているのですから、Rie is tall の t a l l に、勝ってるゾという印 “e r” をつけます。

③ 最後に、t h a n の後ろの文の i s t a l l を省略します。「〇〇は××が背の高いのより背が高い。」というようなくどい言い方は、日本語でもしませんよね。

2の文の作り方

元になる文

Kanako is tall. Rie is tall.
カナコは背が高い リエは背が高い

- ① Kanako is tall **than** Rie is tall.
- ② Kanako is taller**er** than Rie is tall.
- ③ Kanako is taller than Rie (is tall).

① カナコの方が背が高いのですから、Kanako is tall という文を先に書いて、**t h a n** でつなぎます。

② 次に、K a n a k o が t a l l ということに勝ってるゾという印 “e r” をつけます。

③ 最後に、Rie is tall の i s t a l l を省略して完成です。

ところで私は、2つの文を t h a n という接続詞でつなぎ、比べたことに勝っている印 “e r” をつけることを覚えてもらうために、子供たちには次のように教えています。

私	: 「君たちが人と比較されたらどんな気持ちがする？」
子供たち	: 「イヤ(e r)な気持ち」
私	: 「イヤをお金持ちのおばちゃまコトバで言うとうどうなる？」
子供たち	: 「イヤ(e r)ザン(t h a n)す」

比較級(~e r)と t h a n が名コンビだということを

「比較されたら**イヤ(e r)ザン(t h a n)す**」

とつぶやいて記憶してください。さあ、つぶやいて…。

第6章 不定詞は ^{トゥー}to つき動詞のハ・ダ・カ

ここでは、不定詞と呼ばれるコトバについて勉強します。
まず、不定詞の形を覚えてください。

不定詞の形

不定詞は動詞の変身の1つで、動詞の前に **to** という単語を書いて表します。つまり、**to 動詞** という形になります。

問題 1 3 ()内から適切な語を選んでください。

□(1) I went to the park to (plays, playing, play, played) tennis.

□(2) I want to (is, am, are, be) a teacher.

問題 1 3 の答えはP. 112

解説

まず、(1)も(2)も()のすぐ前に **to** という単語があることを押さえておいてください。
英語では、ほとんどの動詞が次の4つの変身をします。

- ① 動詞 **s** ② 動詞 **i n g** ③ 動詞 **e d** ④ **t o** 動詞

ところで、私は

「英語の動詞は着せかえ人形だ」

とよく子供たちに言うのですが、あなたは着せかえ人形の正しい遊び方を知っていますか？
知らない人のために一応遊び方を書いておきますね。

着せかえ人形の正しい遊び方

- ① 新しい服を用意します。
- ② 人形が着ている服をぬがしてハダカにします。
- ③ 新しい服を着せます。

①～③のことをくり返して遊ぶ

さて、ほとんどの動詞は4着の服(**s・e d・i n g・t o**)を持っています。そして私たちが、この4着の服を時と場合によって着せかえることになります。さあ、ここまで書けば私が何を言いたいのかそろそろわかってもらえると思います。**動詞が服を着るときには、いつも**

1着の服しか着れないということです。重ね着は絶対にいけません。このことをしっかりと記憶してください。

問題にもどりましょう。(1)も(2)も()の前に“**to**”という動詞が着る服があるので、“**s**”“**i n g**”“**e d**”などの服を着ているものは×ということになります。したがって、(1)では **play** を選ぶことになるのですが、“**to**”という服を着るときに動詞が“**s**”“**i n g**”“**e d**”などの服を着てはダメだということは、“**to**”の後ろの動詞は何も服を着ていないハダカの状態になっていることを表します。そこで、学校では不定詞の形を **to + 動詞の原形** と教えられるのです。

また、(2)の問題の()内にある **i s・a m・a r e** のことを ^{ビー}**be** 動詞と呼びます。**be** 動詞は特別オシャレな動詞で、ふつうの動詞よりも多くの服を持っています。ふつうの動詞の三単現の“**s**”という服にあたるものが **i s** で、**a m・a r e** も“**be**”が服を着ている形です。この問題も、(1)と同じように()の前に動詞が着る“**to**”という服があるので、結局は何も服を着ていない形(原形)の **be** が答えになります。

ところで、is・am・areの3つ、それにここでは出てきませんでしたが、was・were(ふつうの動詞の“ed”という服にあたるもの)の2つの単語をなぜ「be動詞」と呼ぶのか、これでわかってもらえたのではないのでしょうか。is・am・are・was・wereという動詞の服を着ていないハダカの状態が“be”だからです。このことは、とても大切なのでぜひ覚えておいてくださいね。

is・am・are・was・wereはハダカの状態(=原形)がbeだから、be動詞と呼ばれる

動詞の前に“to”のついたものを不定詞と呼ぶことはわかってもらえましたね。それでは、この不定詞というコトバはいったいどのようにして使われるのでしょうか。

不定詞の使い方

- ① Ken plays the guitar.
ケン
→ to play the guitar
- ② I read books.
私
→ to read books
- ③ They study English.
彼ら
→ to study English

不定詞の形について教えられると、ほとんどの人はto動詞(to+動詞の原形)だけが何か独立したものとして使われると思いきや、ところが実際は、上の例のように不定詞は**いくつかの単語といっしょに『不定詞～』という1つのコトバのカタマリとして使われる**ことが多いのです。ここがわかると英作文や日本語訳の問題がバリバリ音を立ててわかり始めます。

不定詞のある文の訳し方

問題14 次の各文を日本語に訳してください。

- (1) Ken likes to play the guitar.
- (2) I have no time to read books.
- (3) They went to America to study English.

問題14の答えはP.112

解説

- (1) Ken likes to play the guitar.

不定の前までのカタマリと『不定詞～』の2つのカタマリに分けてみるとすぐにわかりますよ。

不定詞の前までのカタマリ Ken likes ➡ ケンは好きです

不定詞～のカタマリ to play the guitar ➡ ギターをひく

横に並べてみましょう ケンは好きです / ギターをひく

いきなり「ケンは好きです」と言われたら、あなたの頭の中にはいったいどんな疑問がうかんできますか。(何が好きなの?)といった疑問がうかんできますね。さて、その(何が好きなの?)という疑問に対する答えの部分が「ギターをひく」になります。日本語では(何が?)という問いに対する答えとして「ギターをひくが」ではおかしいですね。そこで、「ギターをひく**こと**が」という意味が自然に生まれてきます。日本語の順番にすると、

第9章 ハヴに用心!! 現在完了

現在完了について勉強しましょう。

問題23 次の英文を疑問文と否定文に書きかえてください。

□(1) You have a pen.

□(2) You have lived in Kyoto for ten years.

問題23の答えはP.113

解説

(2)の答えを見て驚いた人もいると思いますが、現在完了と呼ばれる文では、have自身が活躍して疑問文や否定文を作るのです。すなわち、疑問文は主語とhaveをヒックリ返して作り、否定文はhaveのすぐ後ろにnotを書いて作ります。また、haveとnotの合体した形(短縮形)がhaven'tになることも覚えておきましょう。

現在完了の疑問文は、主語とhaveをヒックリ返す

現在完了の否定文は、haveの後ろにnotを書く

さあ、大変なことになってきましたね。今まではhaveという動詞がある文を見ても、他の一般動詞がある文と同じように、

「この文にはis・am・are・was・were・will・can・mustがないゾ。こまったなあ、ドー(d o)しよう？」

と隠れた助動詞d oの力を借りて疑問文や否定文を作ってきましたが、今後はhaveを見るたびに、

「オッ、haveがある！ ひょっとしたら、これは現在完了の文かもしれないゾ。」

といちいちチェックしなければならなくなるのです。haveにはくれぐれも用心、用心、用心してくださいよーっ。ポーっとしていたら、するどいキバでかまれてしまい、命取りになってしまいますからネ。



危険!! 「疑問文・否定文を作りなさい」の問題ではハヴがよく出てきます。かまれないように注意してください。

現在完了の文の特徴

問題23の(2)の疑問文はHave you lived ~? また、否定文はYou haven't lived ~. のようにhave自身が活躍して作られています。だから、

You have lived in Kyoto for ten years.

という文は現在完了の文だということがわかります。それでは、この文をよーく観察して現在完了の文の特徴を発見してみましょう。

エーっ!? 全然わからないですって。この文を最初に見たとき、何か気になったことはありませんでしたか？ じゃあ、現在完了の文をもう1つ書いてみますよ。

I have climbed Mt. Fuji once.

さあ、もう自信を持って答えることができるでしょ。この2つの文に共通することは？

「haveのすぐ後ろに“ed”のついた単語がある」

ということですね。まさしくこれが現在完了の文の特徴です。

それでは、この“ed”のついた単語は何者でしょう？

「動詞の過去形」と答えた人。ブーッ。大不正解です。

動詞はあくまでもhaveです。このhaveという動詞が現在形なので、**現在完了**と呼ばれるのですよ。ついでにちょっとだけふれておきますが、haveのかわりに**過去形のhad**を使うと、**過去完了**(高校で学習)と呼ばれるようになります。

話を元にもどしましょう。haveが動詞なら、haveのすぐ後ろにある“ed”のついた単語は、1文1動詞の大原則から動詞の過去形ではなく、過去分詞だということがわかりますね。つまり、英文法ではhaveという現在形の動詞と過去分詞が連続したものを**現在完了形**と呼び、現在完了形のある文を現在完了の文と呼んでいるのです。ところが、実際は

have just 過去分詞

のように、haveと過去分詞の間に単語が1つはさまってくるパターンもあります。ですから、

「この文は、haveのすぐ後ろに過去分詞がないから、現在完了の文じゃないな」

などとカンタンに判断せず、必ずhaveの2つ右側の単語まで見るクセをつけるようにしてください。

また、現在完了の文で使われるhaveは現在形の動詞ですから、**主語が三人称単数形**のときは**has**に変身するということも押さえておきましょう。

●三人称単数形と呼ばれる主語のパターン

- 1単語=He・She・Kenなどの名前・(It・This・That)
- 2単語以上=大文字で始まる単語が2つ連続するもの
最後の単語の最後のアルファベットが**s**になっていないもの

- ①の例 Mr. Hidaka
- ②の例 Her sister, Their father's friend

●現在完了のパターン

- | | |
|----------------------------------|--------|
| ① have 過去分詞←これが基本 | |
| ② has 過去分詞←主語が三人称単数形の場合 | |
| ③ have <input type="text"/> 過去分詞 | これらも重要 |
| ④ has <input type="text"/> 過去分詞 | |

※は1つの単語を表す

確認問題にチャレンジ

問題24 次の英文の中から**現在完了の文**を見つけてください。

- (1) The train has just arrived at the station.
- (2) You have to study English very hard.
- (3) I have known Mayumi for twelve years.